

## 男子ホッケー アジアチャンピオンズトロフィー

大会名	asian champions trophy Doha 2012	日付	2012年12月21日 15:00
場所	Doha, Qatar	天候	晴れ
試合	第2戦	通算結果	日本2敗

Country	Rank	RESULT	Country	Rank
日本 JAPAN	16	Full Time 1 - 3 Half Time 0 - 1	インド INDIA	11

Start	No.	Name	Card
	5	中山 康大	
✓	3	粥川 幸司 (C)	
✓	4	小野 知則	
✓	6	河内 伸仁	
DNP	8	塩川 直人	
✓	11	川上 啓	
✓	12	吉原 平太	
✓	13	山下 学	
✓	14	長澤 克好	
5	15	柴田 良	
✓	16	畠山 学	
✓	17	橋 敏郎	4'G
	19	高瀬 克也 (GK)	
✓	20	川上 良平	
5	22	井島 光希	
✓	23	森嶋 彬 (GK)	
コーチ		姜 建旭	
監督			
UMPIRE		You Sulong(CHN)	

Start	No.	Name	Card
✓	3	Rupinder Pal SINGH	
✓	5	Kothajit SINGH	
	7	Manpreet SINGH	
✓	8	Sardar SINGH (C)	
✓	9	Yuvraj WALMIKI	
✓	10	Dharamvir SINGH	
✓	12	Raghunath VR	
✓	16	Sreejesh PR(GK)	
	19	Nithin THIMMAIAH	63'G
✓	21	Gurwinder Singh CHANDI	
✓	22	Sandhu Harbir SINGH	
	23	Thirumala Roa POTNURI(GK)	
✓	24	Sunil SV	
	25	unknown	
	26	Birendra LAKRA	
✓	27	Akashdeep SINGH	
✓	28	Gurmail SINGH	
	29	unknown	
コーチ		NOBBS MICHAEL	
監督		LOBO DYAL CLARENCE STEPHEN	
UMPIRE		Saleh Al Balushi(OMA)	

Country	Min	Name	Action	Score
IND	21	Raghunath VR	PC	0-1
JPN	50	粥川 幸司	PS	1-1

Country	Min	Name	Action	Score
IND	51	Gurwinder Singh CHANDI	FG	1-2
IND	58	Raghunath VR	PC	1-3

第2戦の相手は先日開催されたチャンピオンズトロフィー4位のインド。この日も初戦に続き、現地に滞在する日本人の方々の声援の中スタートする。

(前半)序盤、インドが個人技術とサークルへの打ち込みで日本陣地に攻め込みペースを握る。日本は少ないチャンスの中、ロングコーナーからサークル内でインドの反則を誘いPCを獲得し先制のチャンスを得る。#14長澤がフリックを打つもインドGKのファインセーブにより先制することが出来ない。インドは21分PCを獲得し#12Raghunath VRが左下段にフリックシュートを決め先制する。その後もインドはピッチをワイドに使いボールを支配する。日本も負けじと巧みなパスワークでインド陣地に攻め入るがなかなかシュートまで至らない。インドの猛攻が続く中、#23GK森島を中心とした日本の堅い守備がそれを凌ぎ前半を0-1で折り返す。

(後半)後半に入り日本は積極的に攻撃に転ずる。50分#3粥川の打ち込みで#6河内がダイレクトシュートを放つ。一度はGKにセーブされるも、こぼれ球に#17橋が素早く反応した所、インドの悪質な反則によりPSを獲得する。緊張感が漂う中#3粥川が落ち着いて決め試合を振り出しに戻す。同点になったのも束の間、レフトサイドからのセンタリングに#21Gurwinder Singh CHANDIがサークル内でレシーブし素早くリバースシュートを振り抜き、すぐさま1-2とリードされる。インドは攻撃の手を緩めず日本ゴールへと何度も攻め入る。そんな中インドがPCを獲得し、#3Rupinder Pal SINGHの強烈なフリックを放つ。しかしこれを日本の1番騎#22井島が体を張ってセーブする。#3Rupinder Pal SINGHの放ったフリックはデンジャラスボールにも見えたが再びPCとされ、井島はそのまま負傷退場となる。そのPCを#12Raghunath VRがこの日2点目となるフリックシュートを決める。そのまま試合は終了し開幕戦に続いて勝利する事が出来なかった。

日本		シュート数			インド
	3	PC数	4		

次戦 (第3戦) 12月23日 (日) 15:00 ~ vs中国

記載責任者: 柴田 良